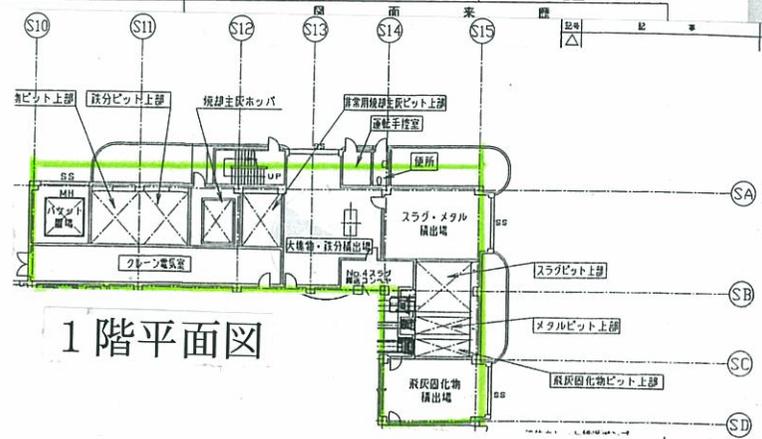


【別添様式2：不適合事象完了報告書】

不適合事象の種類	粉じんの堆積（区分3）
不適合事象発生場所	大塊物等貯留積み出し場上部屋上
不適合事象発生日時	平成 22 年 2 月 19 日（判明日）
1) 不適合事象の発生概要	焼却主灰から溶融不適物として分離した大塊物及び磁性灰は焼却棟 1 階北西側にある貯留ピットにコンベアで搬送されるが、この貯留ピット及びその横にある積出場所の屋上に設置してある換気設備付近で、粉じんが薄く堆積していた。（建物平面図参照）
2) 不適合事象の原因	大塊物及び磁性灰の貯留ピット及びその横にある積出場所の屋上に設置してある換気設備（ルーフファン）から、屋内の空気に含まれた粉じんが放出され、屋上に薄く堆積したものである。屋内の粉じんは、大塊物等がピットに落下する時、または搬出のため積み込みを行うとき、発生したと考えられる。
3) 被害状況	①設備・装置の被害状況 無 ②人的被害状況 無 ③二次被害状況 無 ④周辺環境への影響：無（別紙参照）
4) 不適合事象発生時の対応等	屋上に堆積していた粉じんはモップを用いて、清掃し除去した。また、降雨に伴って流れた粉じんは、直下の会所にとどまっており、会所の清掃を行った。当面の発じん対策として、貯留ピットへの散水を密に行う。また、1階の当該場所は日常的に作業員の出入りするところではないため、換気設備は、設備改善するまでの間、運転を停止する。なお、堆積していた粉じん及び近くの会所、中間の会所、南側調整池の雨水について検査機関に分析させ、周辺環境への影響を考察した。
5) 施設稼働停止の状況及び復旧日時	施設稼働停止期間： 0 日 / 低負荷時間： 0 時間 復旧日時： 平成 年 月 日
6) 不適合事象の調査及び防止対策の状況	①不適合事象対策本部の設置： 無 ②周辺環境調査の実施： 無 ③不適合事象調査委員会の開催 無 ④復旧作業・不適合事象防止対策・改善策等 施工業者において換気設備に粉じん排出防止用のフィルターの取り付けを行う。
7) その他	

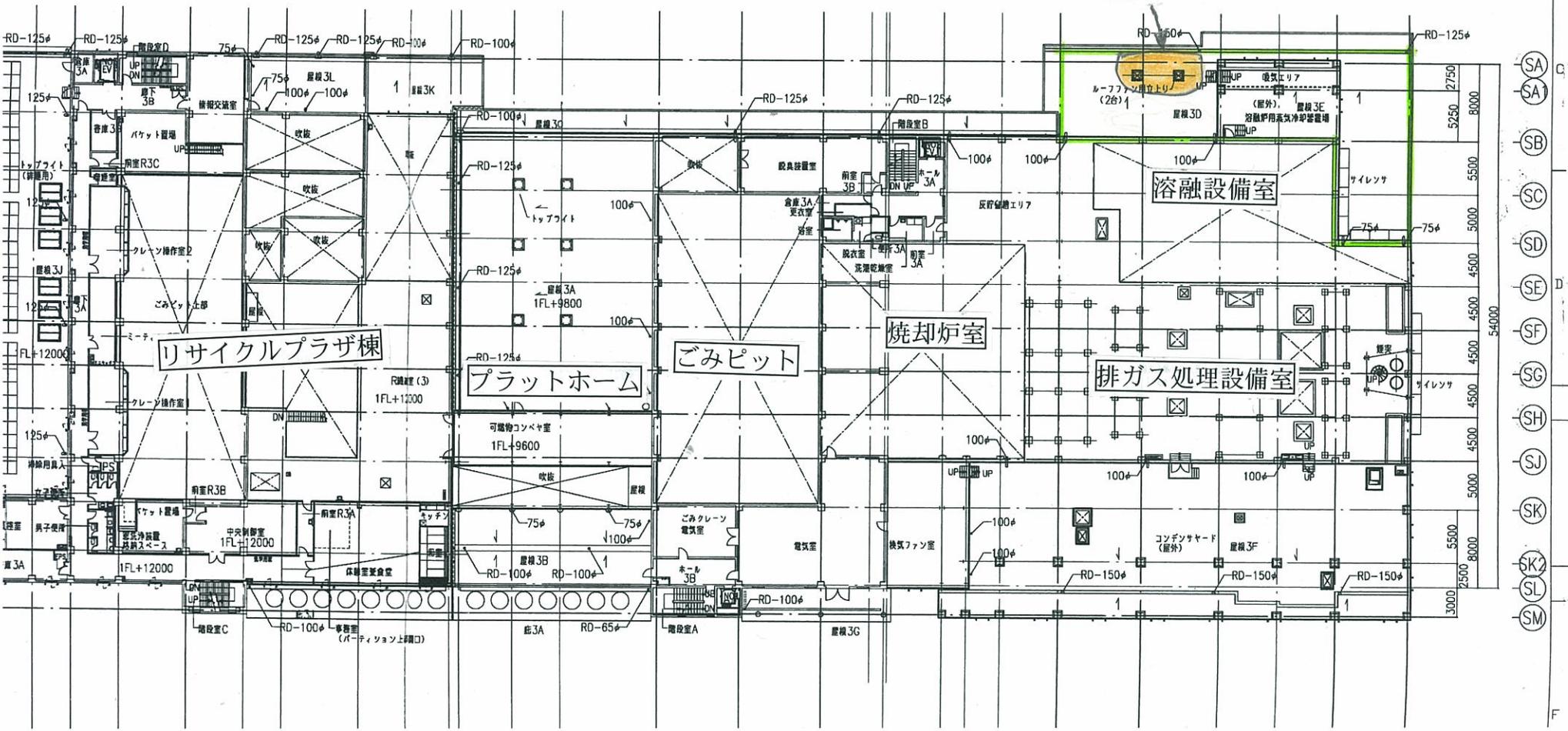
5 6 7 8 9 10 11 12



1階平面図

3階平面図

粉じんの堆積範囲



建物平面図

SA SA SB SC SD SE SF SG SH SJ SK SK SL SM

F

周辺環境への影響

1 堆積した粉じんによる雨水への影響

堆積した粉じん上に雨が降り、有害物質の溶出が考えられるため、以下の3箇所で雨水を採取して分析しましたが、すべて排水基準以下の水質でありました。

(雨水分析結果一覧表及び採水箇所図参照)

- ①会所1・・・当該粉じんが堆積した屋上の雨水のみが集まる会所
- ②会所2・・・施設内のすべての屋根(屋上)雨水が集まる会所
- ③南側調整池・・・施設内の雨水の大半が集まる洪水調整池

2 大気拡散されることによる影響

貯留ピット及び積出場所の室内の粉じん濃度は、 0.071 mg/m^3 (作業環境測定結果)で、屋上ルーフファンから排出された粉じんを含む空気中の粉じん濃度は、これと同じ濃度と考えられます(下表B欄)。

屋上に堆積していた粉じん中の有害物質の濃度は下表A欄のとおりです。粉じん中濃度(A)と粉じん濃度(B)から、計算すると排出された空気中の有害物質の濃度は、下表C欄のとおりとなります。

これらの濃度は、排ガスにかかる組合の基準値に比べて、非常に低い値であることから、ほとんど影響はないものと考えます。

分析項目	A 粉じん中濃度 (ng/mg)	B 排出空気粉じん濃度 (mg/m ³) (室内の濃度)	C = A × B 排出空気中の濃度 (ng/m ³)	D 排ガスにかかる組合基準 ng/m ³
水銀又はその化合物	0.1	0.071	0.0071	50,000
カドミウム又はその化合物	33		2.34	50,000
鉛又はその化合物	710		50.4	1,000,000
ダイキソシキソ類	0.17pg/mg		0.0121pg/m ³	10 pg/m ³
ヒ素又はその化合物	15		1.07	基準なし
有機燐化合物、六価クロム化合物、シアン化合物、PCB、セレン又はその化合物	検出せず		—	

1 mg (ミリグラム) = $1 / 1000 \text{ g}$
 $1 \mu \text{g}$ (マイクログラム) = $1 / 1000000 \text{ g}$
 1 ng (ナノグラム) = $1 / 1000000000 \text{ g}$
 1 pg (ピコグラム) = $1 / 1000000000000 \text{ g}$

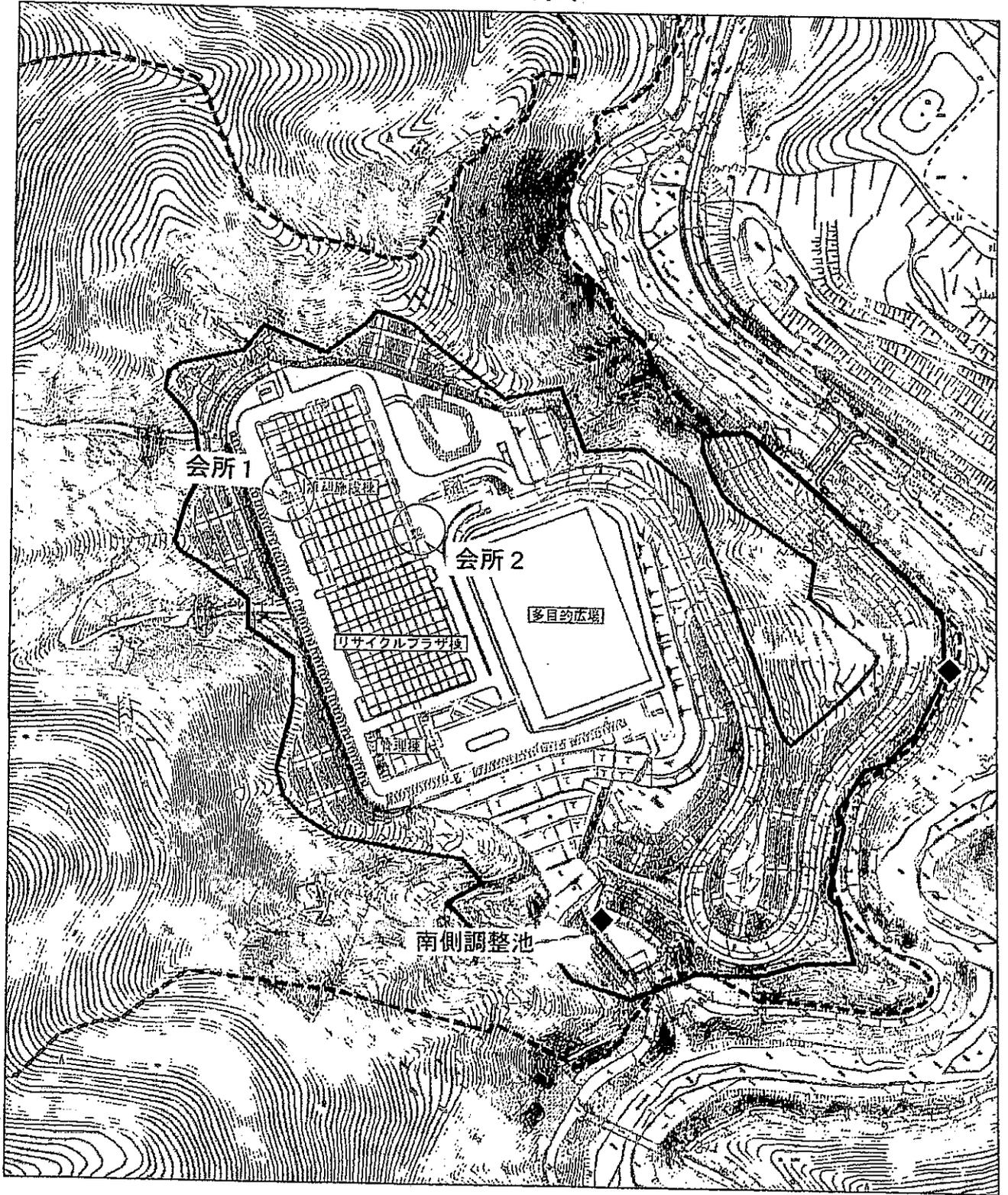
雨 水 分 析 結 果 一 覧 表

分析項目	単位	会所 1	会所 2	南側調整池	排水基準	報告下限値
水素イオン濃度(pH)	-	7.7(16℃)	7.6(16℃)	8.3(25℃)	5.8~8.6	-
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	1	2.5	1.5	30	0.5
浮遊物質(SS)	mg/L	4	検出せず	4	40	1
n-ヘキサン抽出物 (鉱油類)	mg/L	検出せず	検出せず	検出せず	1	1
n-ヘキサン抽出物 (動植物油脂類)	mg/L	検出せず	検出せず	検出せず	5	1
窒素含有量	mg/L	2.4	0.79	1.2	120	0.01
燐含有量	mg/L	0.10	2.3	0.06	16	0.01
フェノール類	mg/L	0.01	0.03	検出せず	0.1	0.01
銅	mg/L	0.01	0.03	0.03	0.5	0.01
亜鉛	mg/L	0.14	0.28	0.12	1.5	0.01
溶解性鉄	mg/L	0.04	0.27	0.08	2	0.01
溶解性マンガン	mg/L	検出せず	検出せず	検出せず	2	0.01
総クロム	mg/L	検出せず	検出せず	検出せず	0.6	0.02
カドミウム	mg/L	検出せず	検出せず	0.002	0.03	0.001
鉛	mg/L	検出せず	検出せず	検出せず	0.1	0.005
砒素	mg/L	検出せず	検出せず	検出せず	0.05	0.005
総水銀	mg/L	検出せず	検出せず	検出せず	0.005	0.0005
シアン化合物	mg/L	検出せず	検出せず	検出せず	0.3	0.1
有機リン	mg/L	検出せず	検出せず	検出せず	0.3	0.1
六価クロム	mg/L	検出せず	検出せず	検出せず	0.1	0.02
アルキル水銀	mg/L	検出せず	検出せず	検出せず	検出されないこと	0.0005
PCB	mg/L	検出せず	検出せず	検出せず	0.003	0.0005
セレン	mg/L	検出せず	検出せず	検出せず	0.1	0.005
アンモニア性窒素	mg/L	検出せず	検出せず	検出せず	100※	0.1
亜硝酸化性窒素	mg/L	検出せず	検出せず	検出せず		0.1
硝酸性窒素	mg/L	0.7	0.8	0.8		0.1
ほう素	mg/L	検出せず	検出せず	検出せず	10	0.1
ふっ素	mg/L	検出せず	検出せず	0.2	3	0.1
ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0.68	0.021	0.013	10	-

・検出せずとは、定量下限未満の値のことである。

※ アンモニア性窒素に0.4を乗じたもの、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素の合計

採水箇所図



1:3,000

